

**EPSON**

# 製品マニュアル更新情報

## ビジネスプロジェクター

EB-755F

EB-750F

EB-735Fi

EB-725Wi

EB-725W

<b>更新ファームウェアについて</b>	<b>4</b>
<b>ファームウェア Ver.1.20の概要</b>	5
メニュー項目に関する変更 (Ver.1.20)	5
操作方法に関する変更 (Ver.1.20)	5
<b>ファームウェア Ver.2.00の概要</b>	6
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)	6
操作方法に関する変更 (Ver.2.00)	6
<b>ファームウェア Ver.2.10の概要</b>	7
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)	7
<b>ファームウェア Ver.2.20の概要</b>	8
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.20)	8
操作方法に関する変更 (Ver.2.20)	8
<b>ファームウェア Ver.2.35の概要</b>	9
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.35)	9
<b>ファームウェア Ver.2.40の概要</b>	10
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)	10
操作方法に関する変更 (Ver.2.40)	10
<b>ファームウェアの変更詳細について</b>	<b>11</b>
<b>メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.20)</b>	12
メニューカラー/ツールバーの色	12
<b>操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.20)</b>	13
ホワイトボードのズーム操作	13
Crestron Connectedの更新	13
<b>メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)</b>	14
A/V出力	14
無信号時画面	14
ホーム画面自動表示	14
待機モードと高速起動	15
<b>トランスミッター設定</b>	15
無線LAN方式	16
<b>操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)</b>	17
ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)	17
はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備	17
ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する	18
<b>メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.10)</b>	19
A/V出力	19
オートパワーオン	19
起動条件	20
待機モードと高速起動	20
トランスミッター設定	21
<b>メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.20)</b>	22
ツールバーのマウスボタン	22
<b>操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.20)</b>	23
マウスボタンとステータスインジケーターをツールバーに追加	23
<b>メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.35)</b>	24
タッチユニットメニューにタッチユニット設置 (手動) を追加	24
<b>メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.40)</b>	25
アクセス制御およびセカンダリ接続	25
<b>操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.40)</b>	26
Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更	26
ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加	26
<b>付録</b>	<b>27</b>
<b>オプション</b>	28
無線LAN用オプション	28
<b>一般のご注意</b>	29
ご注意	29

商標について .....	29
著作権について .....	29

# 更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクトの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

## ► 関連項目

- ・「ファームウェア Ver.1.20の概要」 [p.5](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.6](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.10の概要」 [p.7](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.20の概要」 [p.8](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.35の概要」 [p.9](#)
- ・「ファームウェア Ver.2.40の概要」 [p.10](#)

ファームウェア Ver.1.20での変更の概要を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更（Ver.1.20）」 [p.5](#)
- ・「操作方法に関する変更（Ver.1.20）」 [p.5](#)

---

## メニュー項目に関する変更（Ver.1.20）

本バージョンでは、プロジェクトメニューに以下の変更があります。

### 表示メニュー

- ・[メニューカラー] を追加

### インタラクティブメニュー（EB-735Fi/EB-725Wi）

- ・[ツールバーの色] を追加

## ▶ 関連項目

- ・「メニューカラー/ツールバーの色」 [p.12](#)

---

## 操作方法に関する変更（Ver.1.20）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・ホワイトボードと入力映像で画面を分割しているときに、ホワイトボードの表示倍率を幅に合わせたり高さに合わせたりできる [ズーム] 機能を追加（EB-735Fi/EB-725Wi）
- ・最新バージョンのCrestron Connectedを搭載

## ▶ 関連項目

- ・「ホワイトボードのズーム操作」 [p.13](#)
- ・「Crestron Connectedの更新」 [p.13](#)

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.00）」 [p.6](#)
- 「操作方法に関する変更（Ver.2.00）」 [p.6](#)

- 「無信号時画面」 [p.14](#)
- 「ホーム画面自動表示」 [p.14](#)
- 「待機モードと高速起動」 [p.15](#)
- 「トランスマッター設定」 [p.15](#)
- 「無線LAN方式」 [p.16](#)

## メニュー項目に関する変更（Ver.2.00）

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムの追加に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

### 信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

### 表示メニュー

- [無信号時画面] に設定値を追加
- [ホーム画面自動表示] の項目表示条件を追加

### 動作メニュー

- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

### ネットワークメニュー

- [トランスマッター設定] を追加

### ネットワーク設定メニュー

- [無線LAN方式] を追加

## ▶ 関連項目

- 「A/V出力」 [p.14](#)

## 操作方法に関する変更（Ver.2.00）

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写できます。

ワイヤレスプレゼンテーションシステム（ELPWP10）には、2つのトランスマッター（ELPWT01）と1つの無線LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

## ▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する（Windows/Macのみ）」 [p.17](#)

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）」 [p.7](#)

---

## メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）

本バージョンでは、Microsoft Teams Rooms対応に伴い、プロジェクトメニューに以下の変更があります。

### 信号入出力メニュー

- 【A/V出力】の項目表示条件を追加

### 動作メニュー

- 【オートパワーオン】の内容を変更
- 【起動条件】を追加
- 【待機モード】と【高速起動】の項目表示条件を追加

### ネットワークメニュー

- 【トランスミッター設定】の【オートパワーオン】の項目表示条件を追加

ファームウェア Ver.2.20での変更の概要を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更（Ver.2.20）」 [p.8](#)
- ・「操作方法に関する変更（Ver.2.20）」 [p.8](#)

---

## メニュー項目に関する変更（Ver.2.20）

本バージョンでは、プロジェクトメニューに以下の変更があります。

### インタラクティブメニュー（EB-735Fi/EB-725Wi）

- ・[ツールバーのマウスボタン] を追加

## ▶ 関連項目

- ・「ツールバーのマウスボタン」 [p.22](#)

---

## 操作方法に関する変更（Ver.2.20）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・マウスボタンとステータスインジケーターをインタラクティブツールバーに追加（EB-735Fi/EB-725Wi）

## ▶ 関連項目

- ・「マウスボタンとステータスインジケーターをツールバーに追加」  
[p.23](#)

ファームウェア Ver.2.35での変更の概要を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.35）」 [p.9](#)

---

## メニュー項目に関する変更（Ver.2.35）

本バージョンでは、プロジェクトメニューに以下の変更があります。

### タッチユニットメニュー（EB-735Fi/EB-725Wi）

- 「[タッチユニット設置（手動）]」を追加
- 「[タッチユニット設置]」の項目名称を「[タッチユニット設置（自動）]」に変更

## ▶ 関連項目

- 「タッチユニットメニューにタッチユニット設置（手動）を追加」  
[p.24](#)

ファームウェア Ver.2.40での変更の概要を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更（Ver.2.40）」 [p.10](#)
- ・「操作方法に関する変更（Ver.2.40）」 [p.10](#)

---

## メニュー項目に関する変更（Ver.2.40）

本バージョンでは、プロジェクトメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- ・[割り込み接続] を削除
- ・[アクセス制御] を追加
- ・[セカンダリ接続] を追加

## ▶ 関連項目

- ・「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.25](#)

---

## 操作方法に関する変更（Ver.2.40）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・Screen Mirroringでの投写中にデバイスを強制的に切断できるようになりました。
- ・ホーム画面に [プロックリスト削除] アイコンが追加されました。

## ▶ 関連項目

- ・「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.26](#)
- ・「プロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.26](#)

# ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.1.20）」 p.12
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.1.20）」 p.13
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 p.14
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 p.17
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 p.19
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.20）」 p.22
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.20）」 p.23
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.35）」 p.24
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.40）」 p.25
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.40）」 p.26

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「メニューカラー/ツールバーの色」 [p.12](#)

## メニューカラー/ツールバーの色

[メニューカラー] が [表示] メニューに、[ツールバーの色] が [インタラクティブ] メニューに追加されました。

### 変更前の表示メニュー（Ver.1.00）

設定項目なし

### 変更後の表示/インタラクティブメニュー（Ver.1.20）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	メニューカラー	<ul style="list-style-type: none"><li>黒</li><li>白</li></ul>
インタラクティブ (EB-735Fi/EB-725Wi)	ツールバーの色	<ul style="list-style-type: none"><li>黒</li><li>白</li></ul>

[メニューカラー] で、ホーム画面とプロジェクターメニューのカラーテーマを設定します。[ツールバーの色] で、インタラクティブツールバーの色を設定します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「ホワイトボードのズーム操作」 p.13
- 「Crestron Connectedの更新」 p.13

## ホワイトボードのズーム操作

ホワイトボードと入力映像で画面を分割しているときに、ホワイトボードの表示倍率を幅に合わせたり高さに合わせたりできる【ズーム】機能が追加されました（EB-735Fi/EB-725Wi）。拡大表示しているときは、画面をドラッグして表示位置を動かすことができます。

### 変更前のズーム動作（Ver.1.00）

ホワイトボード画面の左端に表示されるボタンを押すと、以下のズーム機能が使用できます。

-  : 画像を縮小します。
-  : 画像を拡大します。
-  : 元のサイズに戻します。
-  : 選択したエリアを拡大します。

### 変更後のズーム動作（Ver.1.20）

ホワイトボード画面の左端に表示されるボタンを押すと、従来のズーム機能に加えて以下のズーム機能が使用できます。

-  : 2画面投写中にホワイトボードの表示倍率を幅に合わせて変更し、ホワイトボード全体を表示します。
-  : 2画面投写中にホワイトボードの表示倍率を高さに合わせて変更し、ホワイトボードを等倍表示します。

## Crestron Connectedの更新

最新バージョンのCrestron Connectedを搭載しました。Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

### 変更前のCrestron Connected（Ver.1.00）

Crestron Connected V1を搭載しています。

### 変更後のCrestron Connected（Ver.1.20）

Crestron Connected V2を搭載しています。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

## ▶関連項目

- 「A/V出力」 p.14
- 「無信号時画面」 p.14
- 「ホーム画面自動表示」 p.14
- 「待機モードと高速起動」 p.15
- 「トランスマッター設定」 p.15
- 「無線LAN方式」 p.16

## A/V出力

[A/V出力] の項目表示条件が追加されました。

### 変更前の信号入出力メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	[動作] メニューの [高速起動] が [オフ] のとき表示されます。

### 変更後の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「動作」メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている</li> <li>「ネットワーク」メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている</li> </ul>

## 無信号時画面

[無信号時画面] に設定値として [グラデーション] が追加されました。

### 変更前の表示メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ

### 変更後の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ グラデーション

## ホーム画面自動表示

[ホーム画面自動表示] の項目表示条件が追加されました。

### 変更前の表示メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	—

## 変更後の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	[ネットワーク] メニューの [接続ガイド表示] が [オフ] のとき表示されます。

## 待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

## 変更前の動作メニュー (Ver.1.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	[信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] のとき表示されます。
	高速起動	

## 変更後の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。
	高速起動	<ul style="list-style-type: none"> <li>[信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている</li> <li>[ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている</li> </ul>

## トランスマッター設定

[トランスマッター設定] が追加されました。

## 変更前のネットワークメニュー (Ver.1.20)

設定項目なし

## 変更後のネットワークメニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	トランスマッター設定	ペアリング開始
		オートパワーオン
		接続ガイド表示

### ペアリング開始

Epson Wireless Transmitter Settingsを使って、コンピューターからトランスマッターのネットワーク情報を更新します。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。

無線LANユニットが取り付けられ、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] のとき表示されます。

### オートパワーオン

[オン] にすると、ワイヤレスプレゼンテーションシステムでコンピューターを接続したときに、本機の電源がオンになります。

以下の場合に表示されます。

- [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている
- [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

### 接続ガイド表示

[オン] にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面ではなくトランスマッター (Epson Wireless Presentation) の接続ガイドを自動的に表示します。設定の変更は、本機の電源を入れなおしたときに有効になります。

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続するときには、[オフ] にします。

[動作] メニューの【コンテンツ再生】が【オフ】のとき表示されます。

## 無線LAN方式

【無線LAN方式】が追加されました。

### 変更前のネットワーク設定メニュー（Ver.1.20）

設定項目なし

### 変更後のネットワーク設定メニュー（Ver.2.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	ネットワーク設定	無線LAN方式 • 802.11ac (Wi-Fi 5) • 802.11n (Wi-Fi 4)

本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。

お住まいの国や地域により、選択できる方式は異なります。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する（Windows/Macのみ）」 p.17

## ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する（Windows/Macのみ）

オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使用すると、無線LANに対応したコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続できます。ワイヤレスプレゼンテーションシステム（ELPWP10）には、2つのトランスミッター（ELPWT01）と1つの無線LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

## ▶ 関連項目

- 「はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備」 p.17
- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する」 p.18

## はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備

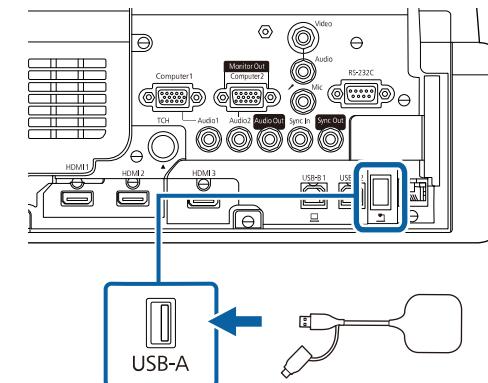
トランスミッターとプロジェクターをペアリングするなど、ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写するための準備をします。



- ペアリングする前に、本機のネットワーク設定を行ってください。
- [ネットワーク設定] メニューの [プロジェクト名] または [パスフレーズ] を変更したときは、トランスミッターを再度ペアリングする必要があります。
- Epson Wireless Transmitter Settingsを使うと、コンピューターからペアリングできます。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。  
[epson.jp/download](http://epson.jp/download)

1 本機の電源を入れます。

2 トランスミッターを本機のUSB-A端子に接続します。



ネットワーク情報が書き込まれ、完了メッセージが表示されます。ペアリング完了まではしばらく時間がかかります。

## ⚠ 注意

ネットワーク情報の書き込み中は、プロジェクターから電源コードやトランスミッターを取り外さないでください。電源コードやトランスミッターを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。完了メッセージの表示を確認してからトランスミッターを取り外すようにしてください。

**3** 続けてペアリングする場合は、もう1つのトランスミッターを接続します。

**4** 必要に応じて [はい] を選択し、[接続ガイド表示] を [オン] にします。



- [はい] を選択することをお勧めします。次回以降、本機の起動時に入力信号がない場合に、トランスミッター（Epson Wireless Presentation）の接続ガイドが表示されます。
  - [接続ガイド表示] が [オフ] で [コンテンツ再生] が [オフ] のとき、[接続ガイド表示] を [オン] にするメッセージが表示されます。
  - [ネットワーク] メニューで接続ガイドの表示を変更できます。
- 👉 [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [接続ガイド表示]

**5** トランスミッターを取り外して、無線LANユニットを取り付けます。

**6** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

**7** [管理] メニューの [無線LAN電源] が [オン] に、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] になっていることを確認します。

本機を再起動して、接続ガイドの表示設定を有効にすることをお勧めします。



[ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] を [オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）でも投写を開始できます。

👉 [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [オートパワーオン]

## ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する

ペアリング済みのトランスミッターを使うと、プロジェクター（レシーバー）とWindows/Macコンピューターを直接接続し、素早く簡単に映像を投写できます。



無線LANユニットが本機に取り付けられていることを確認します。

**1** 本機の電源を入れます。

**2** コンピューターのUSB端子にトランスミッターを接続します。

**3** トランスミッター内のEpson Wireless Presentationを使って投写します。詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「A/V出力」 p.19
- ・「オートパワーオン」 p.19
- ・「起動条件」 p.20
- ・「待機モードと高速起動」 p.20
- ・「トランスミッター設定」 p.21

## A/V出力

[A/V出力] の項目表示条件が追加されました。

### 変更前の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている</li> <li>・ [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている</li> </ul>

### 変更後の信号入出力メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている</li> <li>・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている</li> <li>・ [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている</li> </ul>

## オートパワーオン

[オートパワーオン] の内容が変更されました。

### 変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [USB Display] は [USB Display] が [オン] のとき表示されます。(EB-735Fi/EB-725Wi)

## 変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 [HDMI1] を選択したときは、[起動条件] で本機の起動方法を設定します。 [USB Display] は [USB Display] が [オン] のとき表示されます。(EB-735Fi/ EB-725Wi)

## 起動条件

[起動条件] が追加されました。

### 変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

設定項目なし

### 変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	起動条件	接続検出
		信号検出

[オートパワーオン] が [HDMI1] に設定されているときの本機の起動方法を設定します。

#### 接続検出

接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

#### 信号検出

HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

Microsoft Teams Roomsを使ってビデオ会議を行うとき、便利です。 Microsoft Teams Rooms対応機器からのビデオ信号を検知して、自動的に本機の電源が入るため、すぐに会議を開始できます。



[信号検出] に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。

## 待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

### 変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。
	高速起動	<ul style="list-style-type: none"> <li>[信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている</li> <li>[ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている</li> </ul>

## 変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。
	高速起動	<ul style="list-style-type: none"> <li>【信号入出力】メニューの【A/V出力】が【投写時】に設定されている</li> <li>【動作】メニューの【起動条件】が【接続検出】に設定されている</li> <li>【ネットワーク】メニューの【オートパワーオン】が【オフ】に設定されている</li> </ul>

## 変更後のネットワークメニューのトランスマッター設定 (Ver. 2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスマッター設定	<p>[オートパワーオン]</p> <p>以下の場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【信号入出力】メニューの【A/V出力】が【投写時】に設定されている</li> <li>【動作】メニューの【起動条件】が【接続検出】に設定されている</li> <li>【動作】メニューの【高速起動】が【オフ】に設定されている</li> </ul>

## トランスマッター設定

[トランスマッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件が追加されました。

## 変更前のネットワークメニューのトランスマッター設定 (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスマッター設定	<p>[オートパワーオン]</p> <p>以下の場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【信号入出力】メニューの【A/V出力】が【投写時】に設定されている</li> <li>【動作】メニューの【高速起動】が【オフ】に設定されている</li> </ul>

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「ツールバーのマウスボタン」 p.22

## ツールバーのマウスボタン

[インタラクティブ] メニューに [ツールバーのマウスボタン] が追加されました。

### 変更前のインタラクティブメニュー (Ver.2.10)

設定項目なし

### 変更後のインタラクティブメニュー (Ver.2.20)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
インタラクティブ (EB-735Fi/EB-725Wi)	ツールバーのマウスボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オン</li><li>・ オフ</li></ul>

[ツールバーのマウスボタン] では、マウスボタンをインタラクティブツールバーに表示するかどうかを設定します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「マウスボタンとステータスインジケーターをツールバーに追加」  
[p.23](#)



- マウス操作が可能なのは、[PC操作] が有効のときです。
- マウスボタンは、[設定] メニューで [スクリーンタイプ] が [16:9] (EB-735Fi) または [16:10] (EB-725Wi) に設定されているときに表示されます。

## マウスボタンとステータスインジケーターをツールバーに追加

マウスボタンとステータスインジケーターがインタラクティブツールバーに追加されました (EB-735Fi/EB-725Wi)。インタラクティブペンまたは指でマウスボタンを選択すると、ボタンを押したペンまたは指でコンピューターのマウスカーソルを操作することができます。ステータスインジケーターでは、各インタラクティブペンと指に現在設定されているツールを確認できます。

### 変更前のインタラクティブツールバー (Ver.2.10)



### 変更後のインタラクティブツールバー (Ver.2.20)



- : このボタンを押したインタラクティブペンまたは指を使って、コンピューターのマウスカーソルを操作することができます。
- : 各インタラクティブペンと指に現在設定されているツールを確認することができます。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- 「タッチユニットメニューにタッチユニット設置（手動）を追加」  
[p.24](#)

## タッチユニットメニューにタッチユニット設置（手動）を追加

[タッチユニット] メニューに [タッチユニット設置（手動）] が追加されました。

[タッチユニット設置] の項目名称が [タッチユニット設置（自動）] に変更されました。

詳しくは、本機の『設置工事説明書』をご覧ください。

## 変更前のタッチユニットメニュー（Ver.2.20）

トップメニュー	サブメニュー	設定値
設置	タッチユニット	タッチユニット設置
ペン/指タッチ		

## 変更後のタッチユニットメニュー（Ver.2.35）

トップメニュー	サブメニュー	設定値
設置	タッチユニット	・ タッチユニット設置（自動） ・ タッチユニット設置（手動）
ペン/指タッチ		

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

#### ▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 p.25

### アクセス制御およびセカンダリ接続

[ネットワーク投写] メニューの [Screen Mirroring] の設定項目が変更されました。

#### 変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.35)

設定	設定	項目または設定値
割り込み接続	オン オフ	[オン] にすると、Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。 Screen Mirroring ソースを2系統使用するときは、[オフ] に設定します。

#### 変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.40)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] にすると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。

設定	設定	項目または設定値
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>【割り込み接続不可】：先に接続していたデバイスからの映像が Screen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。</li> <li>【オフ】：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。</li> </ul>

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.26](#)
- ・「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.26](#)

---

## Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更

Screen Mirroringでの投写中に、デバイスを強制的に切断できるようになりました。

投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。

---

## ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加

[ブロックリスト削除] アイコンがホーム画面に追加されました。

[ネットワーク投写] メニューで [アクセス制御] が [オン] に設定されているとき、どのデバイスをScreen Mirroringで接続するかを管理できます。接続しようとしているデバイスを確認画面からブロックすると、そのデバイスがブロックリストに追加されます。このアイコンで、デバイスのブロックを解除できます。

# 付録

新しく用意したオプションや使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

## ▶ 関連項目

- ・「オプション」 [p.28](#)
- ・「一般のご注意」 [p.29](#)

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## ▶ 関連項目

- ・「無線LAN用オプション」 [p.28](#)

---

## 無線LAN用オプション

### ワイヤレスプレゼンテーションシステム **ELPWP10**

本機とWindows/Macコンピューターを直接接続して無線で投写するときに使います。2つのトランスミッター（ELPWT01）と1つの無線 LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

### トランスミッター **ELPWT01**

ワイヤレスプレゼンテーションシステムに追加するトランスミッターです。

次の点にご留意ください。

## ▶ 関連項目

- ・「ご注意」 p.29
- ・「商標について」 p.29
- ・「著作権について」 p.29

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

## 商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Macは、Apple Inc.の商標です。

Crestron®、Crestron Connected®は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

## 著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2020 Seiko Epson Corporation

Rev.00 2025.11 JA